

12月5日（火）ひまわり2組さん授業研究を行いました。先生は一人一人に語りかけながら授業に取り組みました。普段じっくり見られない子どもの様子を見ることができたり、特別支援学級での道徳の授業をどのように進めたらよいか考えたり、とても勉強になりましたね。

令和5年12月5日（火） ひまわり2組

**主題名** 思いやりを行動で **内容項目** B6「親切、思いやり」

**教材名** 「ポロといっしょ」 **出典** 東京書籍



【授業者より】

緊張していて固まってしまう児童がいて発表が難しかった。興味をもたせるために普段は場面を最初に見せ、様子や表情から想像を膨らませるようにしている。

【協議】

<教材提示>

- ・場面絵の並び替えは、範読が終わってからでもいいのかも しれない。
- ・教材が長く、教科書教材だけで価値に迫るのは難しかった。

<発問>

- ・発問の仕方が何を求めているのか分かりにくいところがあったので、分かりやすい発問にする。
- ・「困っている人に声をかけるのは親切か、親切ではないか」などクイズ形式でアプローチするなどの方法も考えられる。

<その他>

- ・緊張する児童がいたので、教師の人数を減らしたり、ビデオで撮ったのち協議したりするなどの方法はどうか。

【山田校長より】（今後のポイントとなること）

- ・3人が45分きちんと席について学習することができていた。
- ・本時の教材は把握が難しい。つらつら読んでも分かりにくい。場面絵とともに話しながら進めたり、「自分だったらどうする？」など三択にして選ばせて自己選択させたり、無理に通常学級と同じ流れにする必要はない。道徳は場面に入り込むことが重要。いかに子供を引き付けていくかを意識すること。カチッとしたものにとられる必要はない。
- ・最後の場面では一人一人の思いやった行動を褒め、実生活に結び付けていて良かった。具体的に写真で見せるとより良い。

